

議会から こんにちは

2019

11.1

令和元年



第4回 議会報告会を開催しました



さの 市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

令和元年9月定例会

- 平成30年度決算を認定
- 決算審査特別委員会では延べ23人が質疑
- 一般質問に18人が登壇

7月8日、9日、11日に田沼、葛生、佐野(開催順)の3会場で第4回議会報告会を開催しました。市民の皆様から多くのご意見をいただき、活気ある報告会にすることができました。今後の議員活動に活かしてまいります。

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。

佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索



平成
30年度

一般会計決算、各特別会計決算、 水道事業会計決算を認定

決算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンでご覧になれます!)



副委員長
小倉 健一



委員長
高橋 功

佐野市議会 議会中継
(令和元年/平成31年)

「令和元年第3回(9月)定例会・
常任委員会・決算審査特別委員
会」からご覧ください。



9月定例会には、平成30年度一般会計決算、各特別会計決算及び水道事業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月20日、24日、25日、26日の4日間にわたり審査を行いました。

委員会では一般会計16名、各特別会計及び水道事業会計7名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全10件の決算議案を認定しました。(議決の結果は4ページのとおり)

平成30年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額	
一般会計	490億5,072万円	480億1,901万円	455億9,777万円	24億2,124万円	
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	134億 534万円	131億4,218万円	128億8,172万円	2億6,046万円
	国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	2億8,790万円	2億6,090万円	2億5,990万円	100万円
	公共下水道事業	38億4,044万円	37億7,191万円	35億9,953万円	1億7,238万円
	農業集落排水事業	1億7,927万円	1億6,548万円	1億5,711万円	837万円
	自家用有償バス事業	1億8,928万円	1億8,194万円	1億8,164万円	30万円
	介護保険事業(保険事業勘定)	111億2,492万円	109億6,673万円	108億1,838万円	1億4,835万円
	後期高齢者医療	13億5,615万円	13億4,306万円	13億4,182万円	124万円
	西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業	1億2,640万円	1億2,515万円	1億2,515万円	0円
	小計	305億 970万円	299億5,735万円	293億6,525万円	5億9,210万円
合計	795億6,042万円	779億7,636万円	749億6,302万円	30億1,334万円	

(注)各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●水道事業会計

(1万円未満四捨五入)

	予 算 額	決 算 額
収 益 的 収 入	23億9,831万円	23億8,812万円
収 益 的 支 出	22億4,396万円	20億7,346万円
資 本 的 収 入	5億2,483万円	5億2,421万円
資 本 的 支 出	14億7,892万円	12億3,481万円



平成30年度決算審査要望書

(防災・減災対策の推進)

- 1 昨今、全国的にみると大型台風、集中豪雨、突風等による気象災害が頻発し、平地、山間地を問わず甚大な被害が発生している。

自分たちの地域は自分たちで守ることが防災の基本であることから、全町会での自主防災組織の設置を目指すとともに、地域防災の担い手となる防災士の資格取得の促進に向けた取組を強化されたい。また、自主防災組織と防災士が連携及び協働ができるように更なる支援に努められたい。

社会資本整備においては、防災及び減災の観点からも、道路、河川等のインフラ整備については優先順位を設けて促進し、治山事業については県に要望するなどし、市民の安全安心に努められたい。

(保育・介護分野における人材確保の支援)

- 2 本市では、子育てと仕事の両立支援のため民間の認定こども園や小規模保育事業所の整備を支援し、また、豊かで健やかな長寿社会の実現を目指し、介護保険事業計画に基づき介護施設の整備を支援してきたところである。しかし、保育・介護分野においては、責任の重さや仕事量の多さの割にそれに見合った報酬が得られない等の理由により、人材の確保に苦慮しているところである。

そこで、処遇の適正化に向けた支援に加え、保育士資格の取得支援や有資格者の活用支援、離職した保育士の再就職のための研修、新人保育士の早期退職防止のための研修、介護職員処遇改善加算の取得のための支援等を積極的に実施し、人材の確保につなげられたい。

(ICT教育の推進)

- 3 現在の子どもたちはデジタルネイティブ世代であり、現代社会においてはICTが不可欠なものになっているため、ICT教育を推進し、児童生徒の情報活用能力の育成を図るとともに、ICT環境の整備に努められたい。

ICT教育においては、ICTのメリットを最大限に活かすとともにデメリットの軽減を図り、児童生徒に効率的で分かりやすく、学習意欲が向上するような授業を提供し、自ら考えて問題を解決する能力を身につけさせ、教員の負担軽減が図られるよう、創意工夫をもって有効にICTを活用し、児童生徒の学力向上に努められたい。

(市営住宅の適正な管理・運営及び入居率の向上)

- 4 少子高齢化や人口減少の進行、空き家の増加等、住生活・住環境を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの住生活・住環境に関する課題への迅速な対応が求められている。

このような状況下において市営住宅においては、建物や設備等の老朽化が進み、入居率も低下している状況にある。そこで、指定管理者と連携し、早急に計画的修繕、入居率の向上等に取り組み、適正な管理・運営に努められたい。更に、住宅確保要配慮者に対する入居条件の緩和も検討されたい。



久保 貴洋 議員(蒼生会)

マラソン大会について

Q 第15回さのマラソン大会より新コースとした理由と目的を伺いたい。

A 市長

さのマラソン大会は、参加する方はもちろん、応援する方、ボランティアとして大会を支える方など、様々な繋がりと相乗効果により、地域を元気にする重要なスポーツ事業です。

この度、まちのシンボルとなる市役所新庁舎が完成したことを好機と捉え、栃木陸上競技協会を始めとする関係者と協議を重ね、抜本的な見直しを行い、大会の公認化とコース変更を決意しました。新庁舎をスタートとして、佐野、田沼、葛生地区の市全体を走り、陸上競技場をゴールとする走りやすいコースです。参加するランナーはもとより、多くの市民に喜んでもらえる大会となるよう、現在準備を進めています。参加者、来訪者の増加により、地域の活力を生み出し、まちの一体化と市のPRに効果を発揮できる、すばらしいさのマラソン大会を実施して、スポーツによるまちづくりを更に飛躍させる所存です。

その他の質問

☆インランドポートを核とした物流拠点整備について
☆あそ野学園開校に向けての取り組みについて



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

クリケットのまちづくりについて

Q 6月に佐野市国際クリケット場で開催された19歳以下ワールドカップ東アジア太平洋予選において、日本代表が優勝し、南アフリカで開催される本選に出場することが決定した。ワールドカップ本選出場は、本市のクリケットのまちづくりに大きな弾みになると考えるが、この好機を捉え、どのように盛り上げていく考えか。

A 観光スポーツ部長

クリケットのまちづくりを進める本市にとりまして大きな励みであり、喜びであると感じています。また、市民プレーヤーの本選出場は、クリケットのまちづくりを進める上で絶好の機会と捉えています。ワールドカップ本選は、来年1月から2月にかけて、南アフリカ共和国で開催されますので、この機を逃さず、本市から出場する選手の活躍を祈念して、例えば、垂れ幕を作成するなど、広く市民に周知する方策を検討し、実施していきたいと考えています。

その他の質問

☆中高年のひきこもり対策について



▲ U19クリケットワールドカップ東アジア太平洋予選で優勝した日本代表



小倉 健一 議員

佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について

Q 学校が統合されることによって、子供を囲む地域コミュニティが大きく変わってくる。学校における働き方改革により、従来の業務を地域の方などにお願ひ、移行、調整する部分においては、様々な環境変化を想定すべきだと思いが、市の見解は。

A 教育長

地域による学校の応援団として、地域学校協働本部を立ち上げて多くのボランティアの方々にご協力をいただけるような体制づくりを進めています。新設のあそ野学園義務教育学校には、ボランティアの方々の控室も準備しています。更に、その地域の応援団の中で取りまとめをしていただく地域応援団、学校応援団の柱となっていくことも、開校に向けて、今人選を進めており、近々、開校準備委員会学校支援部会が開かれる予定です。

その他の質問

☆佐野市の災害対策について
☆高齢運転者の安全装置搭載車購入費用の助成制度の実現について





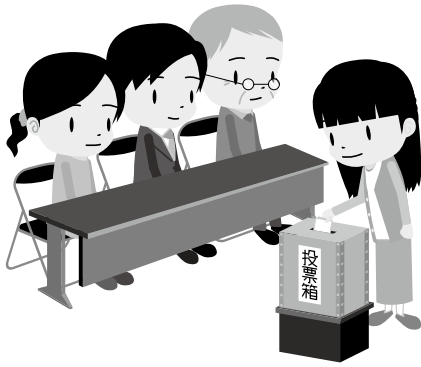
早川 貴光 議員

選挙の投票率向上へ向けた取り組みについて

Q 本市でも平成29年に動画配信ページの「さのDOOR-GA」を開設している。そこで、さのまるを使った選挙投票解説動画等の作成をすることで、若者の投票率アップにもつながると考えるが、市の見解を伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

インターネットを活用した媒体による若い世代への投票行動に及ぼす影響は大きなものがあると認識しています。公平公正な選挙の執行に当たりまして、公職選挙法を始めとするいろいろな関係法令等とのかかわりの中で、そういった点にも十分配慮し、インターネットを活用した啓発のあり方について、研究していきたいと考えています。



横田 誠 議員(新風)

自転車を活用した都市創造について

Q 車道上における自転車専用通行帯等として、自転車マークや矢羽根型をした通行方向の矢印などの路面標示を積極的に進めていく必要がある。実際に自転車専用通行帯の整備が物理的に難しい生活道路と言われる狭隘な道路であっても、車道が混在をして、通行する際に通行空間を認識してもらえよう、視認性の高い生活道路の路面標示を積極的に設置していただきたいと思うが、市の考えは。

A 都市建設部長

自転車専用通行帯の路面標示を積極的に進めることについて、まずは自転車ネットワーク計画を策定することが望ましいと考えています。また、計画の策定に当たり、国や県の道路管理者や交通管理者である警察等の意見を取り入れ、十分に協議を行っていききたいと考えています。

その他の質問

☆地域資源を活かした都市計画道路について

※自転車ネットワーク計画・・・安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示した計画のこと。



金子 保利 議員

佐野市のふるさと納税の取組みについて

Q ふるさと納税寄附受入額と市民の寄附に伴う税額控除額の差額は、平成28年度が2,046万円、29年度が3,243万円、30年度が4,514万円の赤字である。税額控除額により赤字でも、交付税を考慮すると赤字になることもあり得るのか。

A 総合政策部長

普通交付税においては、市内の納税者がふるさと納税をした場合、寄附にかかわる税額控除額の75%が市の基準財政収入額から控除される仕組みとなっています。普通交付税を考慮した場合、市の実質の負担額は寄附金から経費を除いた額と寄附にかかわる税額控除額の25%の差となります。

普通交付税を考慮した場合、寄附金額から経費を差し引いた額が税収減となる税額控除額の25%を上回っていれば赤字という考えになります。平成30年度を例として、寄附金額から経費を差し引いた額が約1,919万円、税収減となる税額控除額の25%が約

その他の質問

☆佐野市の社会資本の整備と維持管理について

1,729万円です。で、差し引きの約190万円が赤字という考えとなります。



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)
学校給食費徴収・
管理業務について

Q 教員等の負担軽減、徴収に関する時間的経費の削減、事務の効率化の観点から、給食費徴収管理システムの導入についてどのように考えるか。

また、具体的な導入はいつになるのか。

A 教育総務部長

給食費徴収管理システムは、給食費の徴収業務の効率化を図るもので、本市においても学校給食費の公会計化のメリットを生かすとともに、徴収業務の一層の効率化を図れるよう、導入を検討していきたいと考えています。

また、文部科学省のガイドラインによると、教員の業務負担の軽減化に向けた学校給食費の公会計化には移行準備として、標準期間をおおむね2年程度設定するのが標準的だと記載されていますので、具体的に期日を申し上げることは難しいですが、ガイドラインを参考に検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆公有財産(市有施設及び市有地)の管理・運営について
☆農福連携について



飯田 昌弘 議員(蒼生会)
新たな流れの創造による
賑わうまちづくり
(唐沢山城跡ガイダンス施設)について

Q 唐沢山城跡ガイダンス施設設置の進行状況について伺いたい。

また、唐沢山城跡では、徒歩での移動しかない。年配の方や体の不自由な方の移動手段を考えるべきと思うが、沖縄中城跡のカート、松山城跡のロープウェイやリフト等を参考に、検討してはどうか。

A 教育総務部長

ガイダンス施設整備については、旧田沼高校跡地利用基本方針に基づき、関係部署と協議を行い、本年度には作業を進め、ガイダンス施設整備に向けたスケジュールをお示しできるように努力したいと考えています。

また、唐沢山城跡の年配の方等の移動手段についての必要性は十分認識していますので、今後史跡内での現状を変更することのない範囲内で有効な史跡整備を図れるよう調査研究し、諸課題等を含め安全対策に留意しつつ、慎重に検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆児童生徒の安全安心の対策について

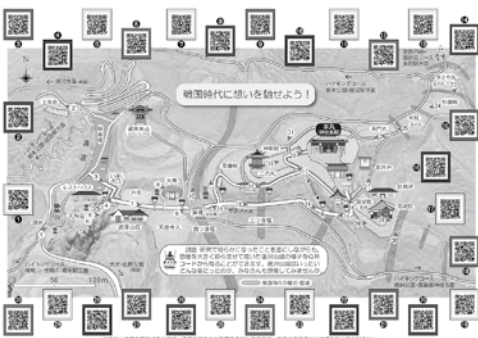


田所 良夫 議員(新風)
佐野市総合計画における
リーディングプロジェクト
について

Q QRコードを活用した唐沢山城内戦国マップで誘客を図っているとのことだが、QRコードを通じて戦国時代に思いをはせるためにも戦国唐沢山城時代の史実、歴史上の人物を明確化しながら戦国唐沢山城の原作をつくるべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 観光スポーツ部長

国指定史跡唐沢山城跡をPRする過程において、古来より地域を治めてきた佐野氏や、その祖先である藤原秀郷公などは、本市にとっても欠かすことのできない歴史上の人物であると捉えています。原作の作成は唐沢山城跡への関心を深めてもらう手法の一つと考えています。今後のイベントなどにおいては、城跡のみならず唐沢山城にかかわった人物像にもスポットを当てたPR方法を研究していきたいと考えています。



▲唐沢山城内 戦国マップ



慶野 常夫議員(政友みらい)
佐野市地域公共交通
再編実施について

Q 公共交通空白地域の南部地区、そして全地域においても均等な交通移動サービスを検討していただきたいと思う。公共交通空白地域である船津川地区、界地区の*デマンド交通の導入について、現時点ではどのように考えるか伺いたい。

A 市民生活部長
植野地区の南部、界地区の南部については、本市としても公共交通空白地域として認識しており、昨年度策定した「佐野市地域公共交通再編実施計画」においても、解消に向けた取り組みを進めるとしています。今後は移動のニーズを把握するため、アンケート調査による移動需要調査等を行い、生活交通導入に向けた検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問
☆各種タクシー券について
☆国道50号沿線開発

*デマンド交通・・・
電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態のこと。



川嶋 嘉一議員(政友みらい)
みかも
三義山連携構想について

Q 市道犬伏244号線の拡幅工事が完成した場合、黒袴町にとってどのような効果、活性化が期待できるか、伺いたい。

A 都市建設部長
市道犬伏244号を拡幅することにより、地域の生活道路として車両や歩行者の安全が確保されるものと考えています。また、黒袴町の周辺においては、これまでにみかも山公園、西浦・黒袴土地区画整理事業や先日開通した県道佐野環状線黒袴工区などの整備が行われ、また現在公共下水道事業も進められています。今後これらの施設の活用やインフラ整備を進めることにより、黒袴町にとっても安全で安心な住みやすいまちづくりに寄与するものと考えています。

その他の質問
☆成年年齢引き下げ後の成人式について
☆小学校教員海外派遣研修事業について



▲みかも山公園西口にいる「さのまる」

Q 安全な林道としての長期的整備については課題があると思う。佐野市単独では13.8キロの林道の管理はなかなか難しいが、県や国との話し合いはできているのか。

A 産業文化部長
林道作原沢入線は、旧田沼町、旧東村、合併後は佐野市、みどり市の行政を始め、議員、地元地権者等、関係者により広域基幹林道作原沢入線開設促進期成同盟会を組織して林道の開設を推進し、佐野市側の開設については市が管理する基幹的な林道として代行事業により県が整備した経過があります。現状は、佐野市で対応していますが、今後は県と話し合いを進めて対応をしたいと考えています。なお、本年度は山腹からの土砂流出によって林道に土砂が堆積する事態が同一箇所複数回発生しており、佐野市による林道の維持管理としての対応では限界があることから、根本的な対策として県に治山事業等による対応ができないか要望しているところです。



亀山 春夫議員(政友みらい)
作原沢入線について

その他の質問
☆ごみ屋敷条例制定について



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

「小中学校適正規模適正配置基本計画(後期計画)」について

Q 小中一貫校は学力向上という観点ではなく、財務省の誘導だとの指摘もある。本市が施設一体型小中一貫校を進める意図は何か。

A 教育総務部長
本市教育行政の抱える諸課題に対応するには、義務教育学校化を進めることがよりよい方策と考えています。

特に本市は平成21年度から小中一貫教育を推進し、研究と実践を積み重ねてきました。その中で、小中一貫教育で最も効果的である施設一体型のおそ野学園義務教育学校と葛生義務教育学校の設置を予定し、今後より一層、全市的に小中一貫教育を推進していく必要があります。また、義務教育学校が設置されることで、現在の小中学校との間に、小学校高学年の一部教科担任制や小中の一歩相互乗り入れ指導、小中一貫教科の実施等の差が出てきます。公教育の平等性の確保の観点から、そうした差を生じさせないことが必要であり、全市的に義務教育学校の設置が必要であると

その他の質問

☆災害時の支援策について

設置が必要であると



菅原 達 議員(公明党議員会)

包括的支援における総合的な相談支援体制の構築について

Q さまざまな要因により複雑な悩みを抱えた市民の相談の中には、担当課の対応だけでは解決が難しかったり、福祉や介護、子育てといった行政の縦割りが解決をおくらせているケースが少なくない。地域共生社会の実現に向け、総合的な相談支援体制を構築するための窓口設置について伺う。

A 行政経営部長

総合的な相談支援窓口の設置については、特に複数の分野に複雑にまたがる問題などを抱えている方にとって大変有意義であると考えていますが、配置する部署や人材、連携体制等、解決すべきさまざまな課題もあります。今回議員にご提案いただいた内容も踏まえ、関係部署との調整を行い、窓口の設置に向けて検討していきたくないと考えています。

その他の質問

☆公務部門における障がい者雇用の推進について



木村 久雄 議員(公明党議員会)

軽度外傷性脳損傷について

Q 軽度外傷性脳損傷を理解することで、予防効果が見込まれると考える。市内小中学校、保育園等にパンフレット等を配布し、保護者に理解してもらうことが予防対策に効果的であり、市の広報紙やホームページ等に掲載し、意識啓発に取り組むことが大切と考えるが、市の今後の対応を伺いたい。

A 健康医療部長

軽度外傷性脳損傷は、乳幼児から高齢者までの幅広い世代に起こり得る可能性があるため、その症状や予防法などを市民に周知することが重要と考えます。具体的には、頭を打った際やその後の頭痛、目まい、倦怠感などの自覚症状が生じた場合の医療機関への受診勧奨などを行います。

周知方法としては、市のホームページに記載するとともに、発症の原因や自覚症状、予防法等をわかりやすくまとめたリーフレット等を作成し、乳幼児健康診査や各種健康教室のほか、保育園や小中学校等で配布する等、広く活用できるようにしたいと考えています。

その他の質問

☆バリアフリーについて
☆食料自給率について
☆ほめる人材育成について



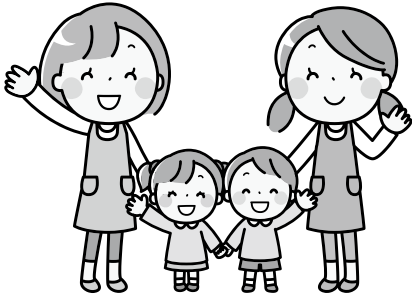
鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
幼児教育無償化について

Q 無償化となる子供たちについて、今回無償化の対象となる子供たちはどのような子供たちか。また、今回の無償化に関しては、佐野市が国からの交付金の窓口になるが、無償化になる対象の子供たちは何人ぐらいになるのか。

A こども福祉部長

3歳から小学校就学前までの全ての子供と住民税非課税世帯に属するゼロ歳から2歳の保育の必要性がある子供が対象となります。ただし、幼稚園籍の子供については、学校教育法の規定等に鑑み、満3歳からの無償化の対象となります。また、無償化の対象の子供は約2,700人と見込んでいます。

その他の質問
☆成年後見人について



横井 帝之 議員(新風)
※さのスポーツキャピタルについて

Q 活躍する女性が多い地域は元気である、地域を盛り上げるには女性のパワーが必要であるとの考えから、佐野市の高校に通う、もしくは佐野市在住の女子高生を対象にさのスポーツキャピタルの社長を公募した。今年2月には事業構想のプレゼンコンテストを開催し、優勝者が社長に就任し、選ばれた女子高生社長は、本人が中心となったプロジェクトも進めているが、現在の進捗状況について伺いたい。

A 観光スポーツ部長

さのスポーツキャピタルの女子高生社長として、ツイッターによる情報発信や講演会での講演を通じて自身の活動やさのスポーツキャピタルのPRを行っています。また、女子高生社長自身が提案したウォーキングとビジネスをかけた合わせたスマートフォンアプリの実現に向け、自らアプリを作成することを目指し、プログラムミングを学ぶための講習会に参加するなど積極的に活動しています。

その他の質問
☆佐野市立小中学校
適正規模・適正配置
基本計画(後期計画)
画(案)の懇談会について
☆佐野クリケット
チャレンジについて

※さのスポーツ
キャピタル・・・
佐野市と地元企業
の共同出資で
設立した株式会社。



若田部治彦 議員(公明党議員会)
若者議会について

Q 若者議会は、市内在住や通勤通学する若者を対象に候補者を募集して、面接などで選考し、議会委員を設置し、市外から参加する委員や運営サポーターを加え、任期1年で情報交換を行い、まちづくりへ向けた政策を練り上げるものである。また、政策を実現するために予算が与えられ、その枠内で新しい事業を実施することができるとのこと。このような若者議会の導入に対する市の見解は。

A 総合政策部長

愛知県新城市の若者議会は、若者が活躍するまちづくりを目指し、条例に基づき市長の諮問機関として、年間1,000万円の子算の使途を議論し、政策立案をして市長に答申し、事業化を図る点で、全国的に類を見ない特徴的な取り組みです。若者の人口流出抑制を図る狙いがあると承知しています。

本市も、人口減少社会を迎え、特に若者世代の転出超過傾向が強く、これらを抑制するために若者世代にとって魅力ある施策を講じる必要があると認識しています。

その他の質問
☆学校プールの状況について

☆学校プールの状況
がありますと認識して
います。

令和元年9月定例会 審議された議案等と結果

9月定例会は、9月6日(金)から9月30日(月)までの25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。平成30年度決算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
報告第14号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【令和元年度の事業計画及び予算並びに平成30年度の決算】	報告	—
報告第15号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について【令和元年度の事業計画及び予算並びに平成30年度の決算】	報告	—
報告第16号	平成30年度佐野市水道事業会計継続費精算報告書の提出について【堀米配水場配水池更新事業】	報告	—
報告第17号	平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率について【平成30年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報告	—
報告第18号	市長の専決処分事項報告について【損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について【尾花淳美氏の任期満了により後任者に同氏を推薦】	推薦同意	賛成全員 (欠席1名)
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦について【兵藤勇氏の任期満了により後任者に同氏を推薦】	推薦同意	賛成全員 (欠席1名)
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦について【大関輝雄氏の任期満了により後任者に麻生芳子氏を推薦】	推薦同意	賛成全員 (欠席1名)
議案第65号	佐野市印鑑条例の改正について【住民基本台帳法施行令及び印鑑登録事務処理要領の一部改正により、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第66号	佐野市議会議員及び佐野市長の選挙における選挙運動の公費負担条例の改正について【公職選挙法の改正に伴い、佐野市議会議員の選挙における選挙運動に係る公費負担の対象を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第67号	佐野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【非常勤の特別職となる鳥獣被害対策実施隊を設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第68号	佐野市職員の給与に関する条例の改正について【地方公務員法の改正に伴い所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第69号	佐野市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について【職員の特殊勤務手当の種類等を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第70号	佐野市手数料条例の改正について【建築基準法の改正に伴い、建築関係手数料を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
議案第71号	佐野市森林環境譲与税活用基金条例の制定について【森林の整備及びその促進を図ることを目的として譲与される譲与税を適正に管理運営するための条例の制定】	原案可決	賛成全員
議案第72号	佐野市学校整備基金条例の制定について【学校の整備に必要な経費の財源を確保するための条例の制定】	原案可決	賛成全員
議案第73号	佐野市奨学金貸与条例の制定について【奨学金の貸与資格、金額等を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第74号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の改正について【特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が改正されることに伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成多数
議案第75号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の改正について【子ども・子育て支援法の改正に伴い、所要の規定を整備し、及び保育料を改めるための改正】	原案可決	賛成多数
議案第76号	佐野市水道事業給水条例の改正について【水道法施行令の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第77号	佐野市消防団条例の改正について【消防団員の欠格事項を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第88号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第5号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,855,611千円を追加、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成多数
議案第89号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ180,451千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第90号	令和元年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ21,957千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第91号	令和元年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,357千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第92号	令和元年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ157,566千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第93号	令和元年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,246千円を追加】	原案可決	賛成全員
陳情第2号	市立学校に勤務する臨時職員の待遇改善に関する陳情(13ページに記載)	不採択	賛成少数

賛否が分かれた議案等

議案番号等	件名	賛	反	議員名【議席番号順】																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶	川	菅	木	横	早	小	金	亀	小	本	若	横	田	久	鈴	岡	鶴	井	山	篠	春	飯	高
				野	嶋	原	村	井	川	倉	子	山	暮	郷	田	田	所	保	木	村	見	川	菅	原	山	飯	高
				常	嘉	達	久	帝	貴	健	保	春	博	淳	治	良	貴	靖	恵	義	克	直	一	敏	田	橋	
				夫	一	達	雄	之	光	一	利	夫	志	一	彦	誠	夫	洋	宏	子	明	彦	己	世	明	弘	功
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について	22	0	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦について	22	0	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦について	22	0	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第74号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の改正について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の改正について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
議案第88号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第5号)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
陳情第2号	市立学校に勤務する臨時職員の待遇改善に関する陳情	2	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	

※○＝賛成または採択、×＝反対または不採択

※春山敏明議長は採決に加わりません。

陳情の審査結果

陳情第2号 市立学校に勤務する臨時職員の待遇改善に関する陳情

▼陳情人

全栃木教職員組合 執行委員長 糸川 祥一

▼陳情の要旨

- (1) 最低賃金(時給826円)で働く佐野市立小中学校事務員(臨時職員)の賃金を大幅に引き上げてください。
- (2) 無給となっている臨時職員の傷病休暇、生理休暇、忌引休暇等は有給としてください。

▼審査結果

本陳情は、9月定例会において経済文教常任委員会に付託され、審査の結果、賛成少数で不採択となりました。同定例会本会議においても、賛成少数で不採択となりました。

第4回 佐野市議会

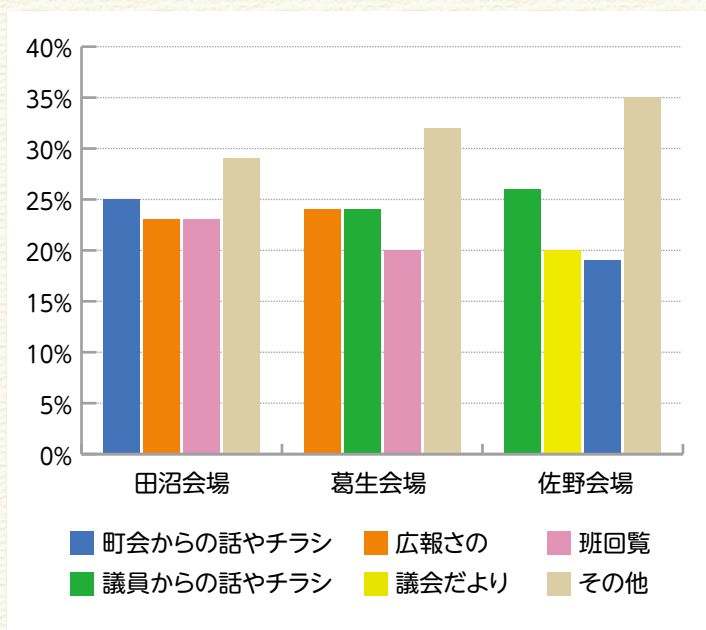
議会報告会を開催しました。

佐野市議会で4回目となる議会報告会を開催しました。佐野、田沼、葛生の3会場とも多くの方にご参加いただき、貴重なご意見を伺うことができました。誠にありがとうございました。

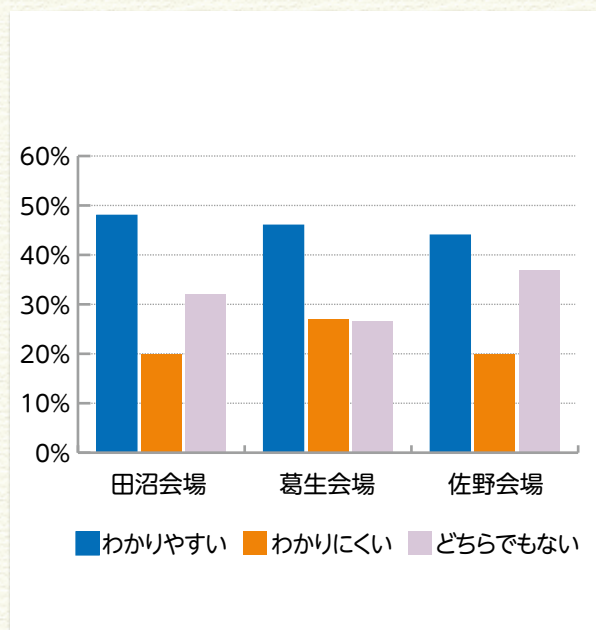
皆様からのアンケート結果とご意見の一部をご紹介します。

★アンケート結果

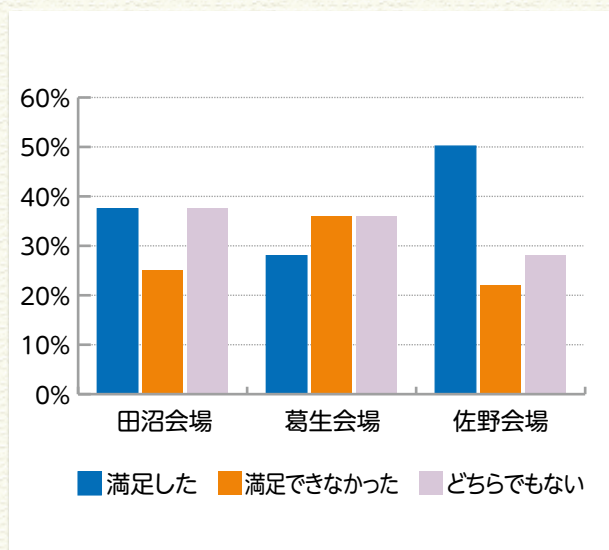
○議会報告会の開催は、どのようにお知りになりましたか。



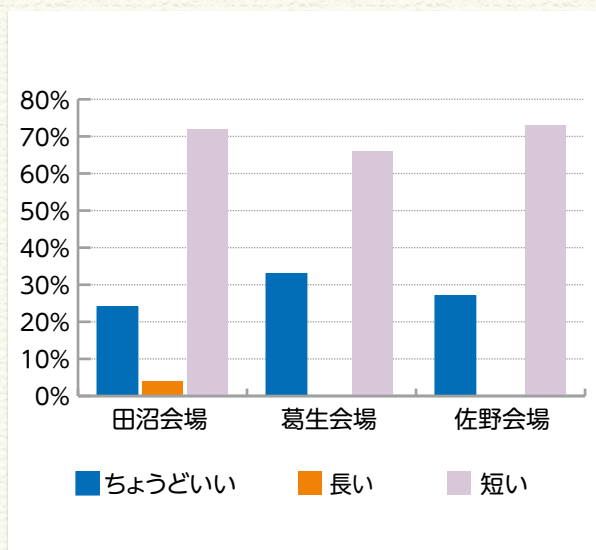
○議員による議会報告の内容について



○意見交換の内容について



○意見交換の時間について



7月8日(月) 田沼会場



午後6時30分
田沼中央公民館
(視聴覚室)
参加人数：31名

○議会報告のテーマ

- ・移住・定住の促進について
- ・田沼地区の公共交通について
- ・田沼地区の農林業・観光資源の活用について

○意見交換

(議会報告の内容とフリートーク)

田沼地区の公共交通について

- 行政が社会福祉協議会などとタイアップして総合的な交通手段を考えるべきではないか。
- 送迎ボランティアについての考えは。
- 基幹線と飛駒線との接続が良くないので見直しをしてほしい。
- デマンド交通の詳細について伺いたい。
- 地域特性を捉えて運行する場所や車両のサイズも検討し、地元住民の協力を得ながら進めてほしい。
- 飛駒でも試験的に運行をしてほしい。
- 路線バスが乗車ゼロで走行しているので、一定期間年齢制限を設け無料で運行してみてもどうか。
- 職員のプロジェクトチームを作り、栃木市の「蔵タク」を研究してデマンド運行に活かしてほしい。

田沼地区の農林業・観光資源の活用について

- 林業振興について、制度上の課題を議会でもっと認識して、補助金の見直しや独自の支援制度を創設してほしい。
- 伐木後の植林や苗木・下草の処理の経費が非常にかかるので、国からの補助金等をつけてほしい。

空き家について

- 空き家周囲の樹木繁茂による農地への悪影響も含めて空き家対策を講じていくべき。
- 空き家について問題があるケースをリストアップし、定住促進と絡めた住宅政策を進めてはどうか。

移住・定住について

- 佐野市若者移住奨励金の対象期間と年代を限定せずに枠を広げてはどうか。
- 道路網も整備され地域条件は良好だが、若い人の働く場が少ないことから移住は難しいのでは。
- 年間の転入と転出の差、その事情について把握しているのか。
- 農業振興地域内の農用地を外せる良い方策はないのか。外せる独自の仕組みを作ってはどうか。
- 少ない面積でも、農地の所有なり貸借ができて、耕作ができるように規制を緩和してほしい。
- 若年層の流出を抑制するため、工業団地の企業の雇用情報等をもっと積極的に公開できるシステムをつくるべき。
- 工業団地に市外から働きに来ている人を市内に住ませる対策はどうしているか。
- 市街化調整区域の規制を緩和して、若者が住宅を建て定住者が増えるような策を講じてほしい。

その他

- 佐野市の宝は水です。その水源である山を整備しないと、きれいな水が維持できない。そこで長期的かつ具体的な計画を立てて、森林環境贈与税等を有効に使ってほしい。
- 野生鳥獣による農作物被害がひどい、何か良い方策を教えてください。
- 定期的な買い物支援を実施してほしい。
- 都市計画マスタープランにおいて中山間地域についてどのような対策をとっていくのか。
- 移動販売に使用される軽トラ等の改造にかかる費用の補助をしてはどうか。

7月9日(火) 葛生会場



午後6時30分
葛生あくとプラザ
(小ホール)
参加人数：16名

○議会報告のテーマ

- ・移住・定住の促進について
- ・葛生地区の公共交通について
- ・葛生地区におけるコンパクトシティ構想について

○意見交換

(議会報告の内容とフリートーク)

移住・定住について

- 働く場所、医療、保育など葛生地区の現状をみると、若い人達が地元に戻りづらく、子育てが難しい現状がある。
- 人口減少対策、少子化対策、定住策など佐野市独自の斬新なアイデアを検討して進めてほしい。
- 佐野市だけで人口対策、少子化対策、高齢化対策を行ったところで限界があると思うので、国の政策や制度も含めて推進してもらいたい。

葛生地区の公共交通について

- 中山間地域には通院や買い物に困っている高齢者がたくさんいるので、交通政策の担当者により細かいデマンド交通について説明をしてほしい。
- 運転免許を返納したくても、日々の生活の不便さを考えると返納できない。
- 仙波会沢線は完全にデマンド、野上・秋山線は定刻で午後はデマンドとなっているが、空いてる時間の人件費は広報に使うとか、委託業者側で工夫できないのか。
- 毎年1億円の赤字にどこまで耐えられるのか。

葛生地区におけるコンパクトシティ構想について

- 小さな拠点づくりに必要な要素を揃えるには民間の力が必要だが、現在の地域の衰退状況を背景に資金不足や人不足で地域は尻込みしてしまうと思うので、行政と市民の間に議員が入ってうまくコーディネートしてほしい。
- 構想で空校舎の活用とあるが、閉校後の活用で、企業誘致は可能なのか。払い下げの条件等の対処に興味がある。

その他

- 小学校が閉校になる予定だが、閉校後の再利用について市から示されてこない。
- 葛生地区と田沼地区にそれぞれ副市長をおくべき。
- 山間地域と市街地では課題が違うので、行政と議会から市民は何をすべきなのか、何ができるのかを提案していただき、一緒により良い佐野市を創っていききたい。
- 佐野市民病院は小児科がありません。このような状況では益々中山間地域に住む人が減少するので、医師の招へいについて市も動いてください。
- 葛生地区は環境的に綺麗とは言えないので、花などを植えて綺麗にし、環境美化に努めてほしい。
- 東武佐野線の乗車人数が上り下りで大分違うが、将来的な運行回数を減らすなどの話はあるのか。
- 高齢者の事故が多くなっているが、免許の返納率よりも、運転者年齢が今後上がる中での対応は。
- 葛生駅から片山公園までトロッコ列車を走らせるなど、日頃市民が思うアイデアを交換し合う場があると良い。
- 年々世帯数が減り、空き家が増えているが、当該空き家の草刈り等の管理に対して市の補助金等はあるか。
- 佐野高校SGHで閉校後の利活用に関して子どもたちも考えている。若い人の意見も聴く機会が欲しい。
- 高速交通網やインランドポートの収支も改善していることから、葛生地区への波及効果を期待したい。

7月11日(木) 佐野会場



午後6時30分
佐野市役所
(委員会室)
参加人数：53名

○議会報告のテーマ

- ・移住・定住の促進について
- ・佐野地区の公共交通について
- ・佐野地区の空き家対策について

○意見交換

(議会報告の内容とフリートーク)

移住・定住について

- 豊かさ、独自の文化があって、素晴らしい所だと示さないと人は住みつかないと思う。
- 若者の移住定住が促進されるように、障がいや病気をお持ちの方が、一般就労を目指す運営をしている事業所が多いことをもっとアピールすべきではないか。
- 空き家や市営住宅をリノベーションし、子育て世代に入居していただけるように資源の有効活用を図るべきでは。
- 他市との違いを出し、目立ったことで人を引きつけるには、議会みんなでアイデアを出して、議会がリーダーシップをとってやっていくことが一番の人口減少対策になると思う。
- 若者が出でいってしまう一番の原因は大学進学。また戻ってきてもらえるよう市街化調整区域など規制緩和に努めるべき。
- 人口増につながるきっかけづくりなど、新たな発想に取り組み、市と住民が一体となって情報を共有することを期待する。

佐野地区の公共交通について

- 毎年1億円近い赤字を出している現実を把握して、本当に使えるように、税金の無駄をこんなに出さなくて済む方法を議員さんたちに考えていただきたい。
- 空でバスを走らせるなら、荷物を運ぶことは可能なのか。路線内での荷物の送料を得ることができるのでは。
- 奈良渕地区はコンビニが一軒しかない。スーパーも近くになく、バス利用も停留所が遠いので路線の検討を希望したい。

その他

- 栃木市と小山市のバスは相互に乗り入れられている。佐野市は栃木市(岩舟)との接点はあるが、足利市ともするべきだと思う。
- 名水赤見線から新都市バスターミナルやイオンへの路線との乗り継ぎが悪い便がある。一日何便かでも直接新都市バスターミナルやイオンに行ける便を設ければ、利用が増えるのではないか。
- 障がいをもった人たちが車の免許返納などを心配しなですむような交通政策をお願いしたい。
- バスの騒音について対策を講じてほしい。
- 採算を取るか、採算は度外視して福祉的意義を重視するか、優先度を示すことが重要だ。
- 新規に始まる吾妻線などについては、過去の失敗事例を活かして、利用者がなく廃止や路線の変更がないようにしてほしい。
- 赤見名水線はかなりの利用者があるので、赤字路線もあり問題ではあるが、大いに利用してもらえるような方法を考えてほしい。
- 公共交通の無料化を検討してはどうか。
- 小山市と栃木市の様に市営バスの連携、提携を結んで佐野市からも近隣市に乗り換えなくても移動できるようにしてほしい。
- 街中の人はデマンド方式ができないので高齢者福祉タクシー券の利用を病院だけでなく、買い物にも利用できるような方法を取ってほしい。
- スマホのアプリなどITを活用した効率的な運行をしてほしい。運営側は乗車人数と場所が把握でき、乗車する人は待ち時間や運行状況が分かるなど、デマンド運行でもストレスなく乗車できるのではないか。

佐野地区の空き家について

- 空き家に住まう猫について、苦情の受付先や引き受け方法などがあれば、周知してほしい。
- 空き家の樹木、空き地の雑草の繁茂など、管理について空き家と共に検討してほしい。
- 老朽化している空き家の実態をつかむことが必要。
- 佐野市内で障がい者育成支援事業を通して私自身が空き家を有効活用していきたいと思い、議会報告会に参加した。
- 空き家対策について、補助金等を活かして取り壊し等の交渉を持ち主としていただきたい。
- 特定空き家や危険な物件の解体など、今後の積極的な対策を期待したい。
- 空き家や閉校となった学校を改修をして低料金で貸し出すなど、積極的な活用を期待したい。

その他

- 新潟県では幼稚園から小学校・中学校・高校までの学園化を推進しているので参考にしてほしい。
- 結婚相談支援の充実を希望する。
- 移住・定住の促進、公共交通、空き家対策、それぞれに原因の究明と対策ができていない。また議員も空き家について具体的な対策を立てていないので、議員の必要性がない。
- 移住・定住の促進、公共交通、空き家対策について佐野市で行われた事が全然報告にないので、行われた事の実体が聞きたかった。
- 議員の行政視察で、先進の自治体での成功例などを見聞き、どれだけ活かしているか疑問である。また、解消した事例などを報告することも必要だと思う。
- 人口減少を強調するばかりでなく、安心安全なまちづくりが必要。
- 企業の立地や働ける場所・子育て支援などのまちづくり政策が必要。

- 佐野市内でもゴミが河川敷や道路に捨てられているのを見る。月に一度くらい清掃がされると良いと思う。
- 国際交流、生涯学習、公民館活動の分野で、まだまだ政策的に予算が少ないのではないか。
- 日常生活において一人暮らしの高齢者が一番困っているテーマを議会で取り上げてもらいたい。
- 高収入を得られるような企業をどれだけ増やしていくかが課題。
- 佐野市の魅力はラーメンだけではないので、その魅力を発掘すること、磨くこと、PRすることに効果的かつ効率的に予算を使ってほしい。
- 樹木葬を佐野市でやってはどうか。
- 市職員の対応一つで、佐野市の印象、窓口の雰囲気が変わるので、サーバント意識をもって働いてもらいたい。
- 高齢者福祉タクシー券の目的が通院に限られているので、買い物にも使えるように利用範囲を拡大してほしい。
- 未婚の人、子育てをしている世代が日々の仕事に追われ、悩みを相談できないので、そうした若者世代が集える場を作ってもらいたい。
- 秋山川の海陸橋付近で、河川に雑木がたくさんあるので、伐木してもらいたい。
- 佐野市へいかに外国人を呼び込むのか、永住についての審査の在り方も含め考えてもらいたい。
- 国土交通省から職員が来ているので、雨水対策や渡良瀬川への排水等、河川行政についてしっかり足跡を残していただきたい。
- 農家の環境を守る活動をしているが、農地の保全、後継者問題など農家の維持について深刻な問題を抱えている。
- 高萩町において、太陽光のフェンス等の工作物とその管理について問題がある。
- イオン付近の交通渋滞の解消策について積極的に取り組んでほしい。
- 茨城県から引っ越してきたが、以前住んでいたまちよりも、佐野市は下水道料金が高いので安くしてほしい。

常任委員会の所管事務調査

所管事務調査とは

所管事務調査とは、委員会が所管する事務の調査を自主的に行うことです。

会期中に委員会が所管する事項について、閉会中も継続して審査することができる旨の議決を行うことで、委員会は閉会中でも所管事項の調査を行うことができます。

本市では各委員会が閉会中に、所管する事務について市から説明を受けたり、所管分野の現地視察や先進地への行政視察を行ったりしています。

下記の日程でそれぞれ委員会を開催し、各調査事項について市から報告を受けました。



総務常任委員会 8月2日開催

- 調査事項1 ※違反対象物の公表制度について
※消防機関が重大な消防法令違反を確認した場合に違反内容等をホームページに公表する制度
- 調査事項2 次期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

厚生常任委員会 8月2日開催

- 調査事項1 みかもグリーンセンターのゴミ処理について
- 調査事項2 国民健康保険について
- 調査事項3 幼児教育・保育の無償化に伴う保育料の改正等について

経済文教常任委員会 8月5日開催

- 調査事項1 「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト等について
- 調査事項2 通学時の児童生徒の安全対策について
- 調査事項3 多面的機能支払交付事業について

建設常任委員会 8月5日開催

- 調査事項1 佐野市橋梁長寿命化について
- 調査事項2 市営住宅について
- 調査事項3 社会資本整備の今後の在り方について

平成31年4月から令和元年9月までの佐野市議会で行った主な取り組み

- ・佐野クリケットチャレンジ事業説明会の開催(平成31年4月24日)
- ・遠藤食品株式会社 工場視察の実施(平成31年4月25日)
- ・佐野市あそ商工会との意見交換会の開催(令和元年5月14日)



- ・佐野市立あそ野学園義務教育学校工事現場見学会の実施(令和元年6月28日)
- ・佐野市民病院運営状況等の説明会の実施(令和元年6月28日)
- ・第4回佐野市議会 議会報告会の開催(令和元年7月8日、9日、11日)

※14ページから18ページをご覧ください

令和元年 12月定例会日程(案)

令和元年12月定例会の日程は、11月29日(金)の議会運営委員会で内定し、12月6日(金)の本会議で決定します。※日程は変更になることがあります。

11/25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	12/1日(日)
		請願及び陳情提出 期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
				10:00 本会議 (議案説明)	休会	休会
9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)
9:00又は10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00又は10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議(委員長報告、 質疑、討論、表決)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会は、付託された議案、請願、陳情等の件数が6件以下の場合は午前10時に、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

全国市議会議長会から表彰され、 表彰状及び感謝状の伝達式が行われました

全国市議会議長会から在職15年以上により篠原一世議員、在職10年以上により小暮博志議員、鈴木靖宏議員が表彰され、全国市議会議長会の理事を務められた井川克彦議員に感謝状が贈られました。9月定例会の初日に表彰状及び感謝状の伝達式を行いました。



在職10年以上
小暮 博志
議員



在職15年以上
篠原 一世
議員



全国市議会議長会理事
井川 克彦
議員



在職10年以上
鈴木 靖宏
議員

9月議会においては、10月から始まる「幼児教育・保育の無償化」に関連した議案質疑や、「小中学校適正規模・適正配置基本計画」などをテーマにした一般質問、平成30年度の決算審査など活発な議論が行われました。

これからも市民の声に耳を傾け、市民との協働による安心な街づくりを目指してまいります。

(菅原記)

編集後記

台風19号により甚大な被害に見舞われた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。議会としても、一日も早い復旧に向け尽力してまいります。

編集委員会
委員長 篠原 一世
委員 川嶋 嘉一
委員 菅原 達
委員 久保 貴洋
委員 亀山 春夫

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 [佐野市議会](#) 議会からこんにちは 2019.11.1

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp